

すべての人が「住みなれた地域で共に学び・共に働き・共に暮らす」ために

はあとねっと輪っふる かゆら版

— 今年の高校野球 — 文：橋本 和憲

題字：北川 みずき

今年の高校野球は開幕も1日遅れで、試合をちゃんとやるのかなと思ったら雨で5日間くらい順延。1回戦が終わってから一週間くらい空きがあるチームもあった。それと入場行進もやったけどコロナで出場辞退のチームが2チームあった。

今年の高校野球はどういう形でやるのかなと思って注目していた。なぜなら雨が多くてプロ野球の日程にも関わってきそうだったからだ。結局関わらず無事に終わり良かった。

凄く雨が降ったら中止が続くので大阪ドームとか貸してくれないかなとも思った。でも皆は甲子園の球場が良いのかなと感じた。

決勝は智弁対決でユニフォームが同じなので出来れば、兄弟校だったらユニフォームを変えてほしいなと思った。

も の さ し 幸福の

書：「幸福のものさし」

蓮田太陽の里 大地：嶋 修二



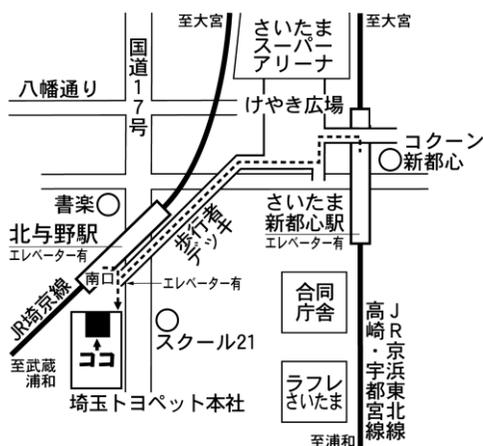
●「はあとねっと輪っふる」は、埼玉トヨペット本社ビル1Fショールーム内(無償提供)にあります。

●「はあとねっと輪っふる」はその理念に賛同し、参加している各団体の中から選出された委員で構成される運営委員会により運営されます。

輪っふるへのアクセス

●JR埼京線「北与野駅 南口」より徒歩1分
改札を出て右方向へお進みください。

●JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線
「さいたま新都心」より徒歩10分



発行元：はあとねっと輪っふる 発行責任者：轟 和宏 TEL：048-859-4130

住所：〒338-8508 さいたま市中央区上落合 2-2-1 埼玉トヨペット本社 1F

Mail：heartnet02waffle@hotmail.com HP：http://saitama-toyopet.net/

カリヨンの杜・夏祭り

一般社団法人 みつくすビート

去る8月18日(水)、蓮田にあるカリヨンの杜の夏祭りに行ってきました。NEUE(ノイエ)では毎年メンバーとスタッフで賑やかにパン販売をしていましたが、今回は緊急事態宣言中という事でメンバーは行かずスタッフ二人の参加となりました。

イベント1時間前に到着すると車中で抗原検査をおこない、陰性なのを確認してから会場に入ることができました。ソーシャルディスタンスの中で部屋は広々とセッティングされていましたが、緊急事態宣言の適応期間内でしたのでお祭りは第1部が外来とデイサービスの利用者、第2部がそよ風病棟の方達に分けてありました。



スタッフ2人で販売するという異例の事でしたがそれでもお客様は覚えていて下さり売れ行きが良く、第2部までに完売にならないか心配しながら楽しく販売が出来ました。

イベントが始まる合図として毎回カリヨンの金を鳴らします。館内に素敵な音色がこだまします。カリヨンの鐘は《幸せを呼ぶ平和の鐘》心安らぐ緑豊かな施設として『よりそい、ともに歩む』という理念のもと運営している様子が夏祭りを通して感じる事ができました。



『クリスマス会にも来て下さいね〜』とお声をかけてくださった副施設長さんのお誘いに『ぜひ宜しくお願いします』と答えました。はあとねっと輪ふるの繋がりでこのイベントに参加したことでいろいろな方とお会いする事ができています。

コロナが収束しない中でも工夫をしながら実現できて心あたたまる時間を頂きました。



たった 1,000 円！ されど 1,000 円！ かつぼの手当です！

一般社団法人 埼玉障害者自立生活協会 今井 和美

当協会と両輪の片割れとなっている埼玉障害者市民ネットワークは、毎年 8 月に埼玉県と、障がいを持つ人の地域生活に関する実態や制度について話し合いを持っています。障がいを持つ人の生活を福祉の中に押し込めるのではなく、行政の様々な分野の中に、ほんの少しずつ障がいを持つ人に対する視点をもって行われれば、障がい者はもちろん、高齢者も小さな子供をもつ家庭も、少しは住みやすい地域になるのではないかと考え、福祉だけではなく、さまざまな分野の担当課をお呼びして話し合いをしています。

福祉制度は障がい者の就労に重きを置いて進められるようになりました。町の中に就労 A だの就労 B だの就労支援だのと、見かける事が多くなったと思います。県庁の中でも、教育局が障がい者の雇用推進モデル事業として会計年度任用職員として支援学校を卒業した知的障害のある生徒を雇用しています。

令和 2 年度からスマートステーションは、①障がい者と健常者、業務を依頼する職員と作業する職員が「同じ目線」で働く場を目指す。②請け負った業務を「きっかり」納品する③「ふらっと」立ち寄れる親しみのある開いた職場という意味を flat(フラット)にこめ、やはり会計年度任用職員として障がい者を雇用しています。両方とも 1 年限りです。では、私たちが行っている埼玉県庁内「福祉の店」アンテナショップは？ 就労の場から遠く離れた重度の障がい者は、総合支援法になり、今まで以上に働く場からは排除されています。以前は職員とともにかつぼに働きに来ていた人たちも、施設の外に出てくるのが困難になっています。一方で、何らかのハンディがあり、一般企業で働けない人たちが、かつぼの手伝いに来ています。朝 2 時から自分で焼いたパンを持参し販売して帰る人もいます。彼は、イライラすると大きな声でうなってしまうますが、かつぼで働くときは「ここではしてはいけない」と言っています。最近手帳を取得した事で、福祉施設に通うことになり、かつぼに来なくなってしまいました。

また、精神の障がいがあり、夜中に自転車で住んでいるところを出て、朝の 5 時前に県庁に着いてしまう人もいます。かつぼは 9 時半開始ですが、それまで外で待っています。その後、販売活動をしてまた自転車で帰っていく。たった 1,000 円の交通費代わりの手当でも、自分で稼いだ金をもらうということは、大事な生活の一部になっているのです。訓練の場でもなく、成果主義とはかけ離れながら、障がいを持つ人の社会参加の場を提供しているかつぼですが、運営費は稼いだお金でやりくりするので、毎年今季最後と覚悟をしながら、試行錯誤しています。(Facebook を見てね)

2021/09/21 発行

とどさんトーク

今月の一言

「献血にご協力をお願いします」



こんにちは。《とどさんトーク》の轟です。今年の夏後半は天候不順で曇りや雨の日が多く『大きな入道雲を見ながら、もうすぐ夏も終わりだ!』といった感覚がなく、一気に秋が来た感じがします。今後の野菜の高騰が心配です。

さて、今月の一言は「献血にご協力をお願いします」です。例年夏場は献血する方が少なく日本赤十字社では毎年サマーキャンペーンを展開しておりますが本年は特に新型コロナウイルス感染拡大の影響と緊急事態宣言により献血協力者の減少が続いているそうです。関東甲信ブロックでは 400mL 献血者の必要人数に対し、7月がマイナス 4,906 人、8月がマイナス 2,203 人となり、9月も減少が続いており、献血バスによる団体献血の中止が大きく影響しています。

日本国内では、1日に平均約 3,000 人の患者さんが輸血を必要としています。科学が進歩した現在でも、輸血に使用する血液は、まだ人工的に造ることができず、長期保存することもできません。そのため、絶やすことなく、常に血液を安定的に確保する必要があります。献血は SDGs の目標 3「すべての人に健康と福祉を」の取り組みに個人で貢献できます。私も埼玉県赤十字血液センターのHPで献血バスの日程を調べたら、9月20日(祝)朝霞市に献血バスが来るので 57 回目の 400mL 献血に行ってきます!

(<https://www.bs.jrc.or.jp/ktk/saitama/place/index.html>)

9月・10月の予定		10/14(木)	輪っふる世話人会 18:00~20:00 (Zoomによるオンライン開催)
09/30(木)	県回答の理解と供給のために! ネットワーク会議第1日目 浦和コミュニティセンター第15集会室 13:30~16:30	10/18(月)	第4回埼玉企業部会 14:30~17:00 カルタスホール第3・4会議室
10/05(火)	上尾かしの木特別支援学校1年生 『就労に向けて』講演 10:00~11:00	10/22(金)	さいたま障害者就業サポート研究会 第78回定例会 (Zoomにて企業見学会) 14:00~16:30
10/05(火) ~06(水)	ジョブ・サポーター研修(中級) 埼玉教育会館 10:00~16:00	10/26(火)	県回答の理解と供給のために! ネットワーク会議第2日目 与野本町コミュニティセンター多目的ホール(小) 13:30~16:30
10/14(木)	赤ちゃんサロン 10:00~12:00 (Zoomによるオンライン交流を予定)		

【お知らせ】・予定をしておりました稲刈りですが、緊急事態宣言が発令されており、参加者の健康と安全を第一に考え、中止とさせていただきます

・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各イベントを中止する場合がございます。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます

※毎週金曜日は埼玉トヨペット(株)配車センター・一平蓮田工房・浦和サービスセンターにて、毎週土曜日は埼玉トヨペット本社ショールームでパン販売をおこなっております(現在、緊急事態宣言発令中につきパン販売を中止しております)